一級自動車工学科　　2022年度 授業計画

時 期	一級4年後期	単元	評価実習	教科名	故障診断1	
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品	エンジン電子制御装置　テキスト		発行日	2022年3月17日
			シャシ電子制御装置　テキスト			
総時限	30(48)		自働車新技術　テキスト		教科担当	藤山、渡辺
			法令教材　テキスト			

1．実務経験のある教員による授業科目　該当　非該当

自動車整備士として、故障診断の経験がある教員により論理だてた故障診断手順に則った指導をする。

2．教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

1．一級自動車整備士として身に着けるべき実践的な知識、技能を修得する

3．授業の到達目標（この授業を学ぶことで学生は何を理解し何が出来るようになるのか）

1．インターンシップ研修で得た課題について、理解・習熟し、確実に作業ができる
2．国家１級テキストの内容を整備機器、車両、シミュレーターを利用して確認し、理解を深める

4．学習評価（期末試験での主な試験項目）

レポート内容にて70点以上を合格とする。
レポート評価基準　国家一級整備士試験問題に係わる知識として相応しいか

5．準備学習

総合演習２Ａで学習した内容を復習しておくこと。

一級自動車工学科

2022年度 授業計画

時 期	一級4年後期	単元	評価実習	教科名	故障診断1

7．授業概要（時限ごとの主な授業内容）

時限	主な授業内容
1	■授業概要
2	■故障診断演習問題1による理解度確認
3	■故障診断演習問題1による理解度確認
4	■車両、シュミレータ等による確認
5	■解説とまとめ
6	■故障診断演習問題2による理解度確認
7	■故障診断演習問題2による理解度確認
8	■車両、シュミレータ等による確認
9	■解説とまとめ
10	■故障診断演習問題3による理解度確認
11	■故障診断演習問題3による理解度確認
12	■車両、シュミレータ等による確認
13	■解説とまとめ
14	■故障診断演習問題4による理解度確認
15	■故障診断演習問題4による理解度確認
16	■車両、シュミレータ等による確認
17	■解説とまとめ
18	■故障診断演習問題5による理解度確認
19	■故障診断演習問題5による理解度確認
20	■車両、シュミレータ等による確認
21	■解説とまとめ
22	■各自習熟課題の設定
23	■各自課題習熟
24	■各自課題習熟
25	■各自課題習熟
26	■各自課題習熟
27	■各自課題習熟
28	■各自課題習熟
29	■まとめ
30	■期末試験(レポート)

8．教科書、資料、備品類

資料、備品類	数量
エンジン電子制御　テキスト	1
シャシ電子制御　テキスト	1
自働車新技術　テキスト	1
日産技修テキスト２級エンジン	1
日産技修テキスト２級AT	1
日産技修テキスト２級振動･騒音	1
日産技修テキスト２級電装	
日産技修テキスト３級エンジン	
日産技修テキスト３級AT	
演習問題	

■：対面授業

一級自動車工学科　2022年度　授業計画

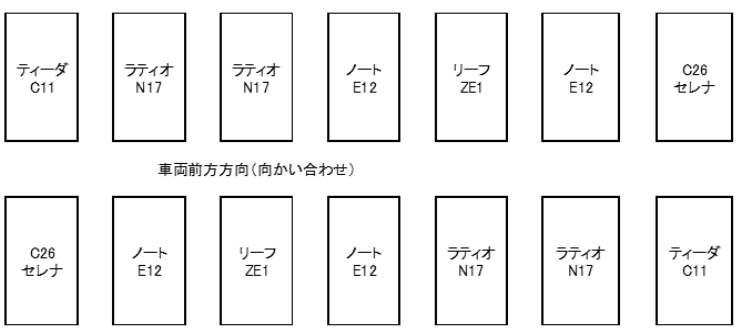
時 期	一級4年後期	単元	評価実習	教科名	故障診断1

7．安全（KYのため必ず授業内で説明）

番号	作業名	遵守事項	災害事例	チェック
1	ボードオン・リフトの使用に関わる注意事項	・車のセット及びホードオン・リフト操作手順を遵守すること。 ・車両重心位置をきちんとリフトの中心に入れ確認すること。 ・ボード上のソフトアタッチメントとボディーの間に手を入れないこと。		
2	エンジン始動時の注意事項	・エンジン始動時に「エンジン始動します」の声かけを行い、注意喚起後に周囲の安全を確認の上で、周囲の返事を待ってから始動すること。 ・関係の無い者の返事を禁止する。		
3	エンジン運転中のシフト操作	・車両に確実に乗り込み適正な乗車姿勢をとること。 ・駐車ブレーキが確実に掛かっていることを確認すること。 ・ブレーキペダルを踏み、ふみ応えがあることを確認すること。 ・車両前後の安全確認を確実に行うこと。 ・上記確認が取れないときはシフト操作を絶対に行わないように徹底する。		

8．授業レイアウト（写真の貼り付けも可）

実習場



座学教室